



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

平成24年度 第1回 定例会 代表質問

「安心・安全なまち」の実現を!

菅原すすむ議員は、本年第1回市議会本会議において、公明党川崎市議会議員団を代表して質問に立ちました。防災意識の高まるなか組まれた新年度予算について、防災対策、子育て支援、中小企業振興など21項目にわたって議論を展開し、市の早急な取り組みを求めました。



代表質問に立つ菅原すすむ議員

防災計画の早急な見直しを!

東日本大震災の被災地への視察を通し、ガレキの処理が未だ進んでいない現状をふまえ、ガレキの受け入れを含め、市の防災対策について質問をしました。

マグニチュード8程度の想定地震による検討部会の中間報告や石油コンビナートがある臨海部の防災機能の内容などを含む、防災計画の早急な見直しの必要性を質しました。また、防災対



©NEW KOMETO

策には、細やかな視点が重要であることから、防災会議に女性ボランティアの参加を要望。災害時に住民の避難先となる学校の防災意識の向上や、安全対策の取り組みを質し、学校施設の防災機能の強化を求めました。

ガレキの受け入れについては、国と連携して進め、他の提案については、「3.11」の教訓を生かし、進めていくとの答弁を得ました。

教師こそ、最大の教育環境

学校教育における、教師の人間性がより大切であることを質しました。民間企業などを経験した教師の存在は、子ども達だけでなく他の教師にとっても良い影響があることなどをふまえ、社会経験のある教員の採用や、教員の企業派遣などの拡充を求めました。

教育長は、「人は人によって人になる」とのカントの言葉を引用し「教師の人間性そのものが、児童生徒にとって大きな教育力である」との考えを示しました。また、「教師の企業研修や社会人の採用を推進するとともに、地域の人材・教育資源を積極的に活用し、地域に開かれた学校を進めていく」との答弁がありました。



©NEW KOMETO

観光振興で魅力ある川崎に!

魅力ある川崎の実現に向け、市の観光資源を最大限に活用し、商業・経済活性化の促進を求めました。

平成19年の定例会で、川崎工場群の夜景など、あらゆるものを観光資源として活用することを提言。現在の取り組み状況を質し、京浜臨海部に川崎港発着の観光船や定期船の運航を提案しました。

人気のある「藤子・F・不二雄ミュージアム」など、市全体の観光資源は毎年拡大しており、中長期の観点からの観光施策を図るべきと見解を求めました。

市は、「全庁的に観光振興施策を展開していくこと。産業観光については、全国初の工場夜景サミットの開催など、先進都市として事業の拡大を進め、現在950項目ある市内の観光資源は、観光関連の消費拡大に活用し、経済の活性化を図っていく」と答弁をしました。



臨海部の夜景